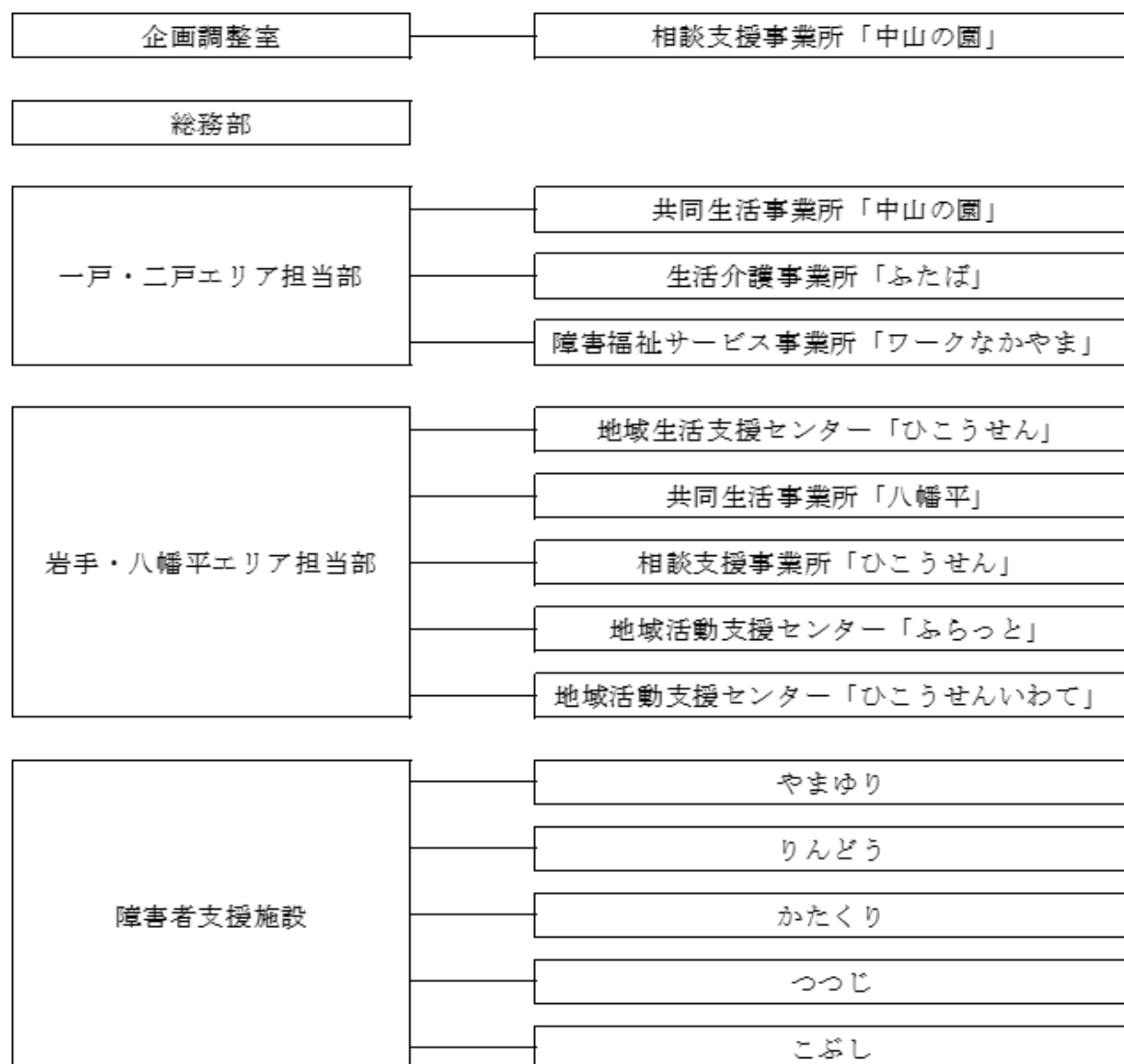


中山の園

経営方針

- 1 地域生活を維持することが困難な障がい者等を積極的に受け入れることにより、施設のセーフティネット機能を発揮していきます。
- 2 中山の園の改築整備に係る検討がより具体化されることを見据え、人材の確保と育成に取り組みながら改築に向けた諸準備を進めます。
- 3 財務状況の把握等、職員の経営意識をより深め、スケールメリットを生かした適切な経営に努めます。

組織図



取り巻く環境

【入所施設】

利用者の高齢化や心身機能の低下による重度化、障がいの多様化に応じた支援が求められています。

適切なサービスを提供するため、既存建物・設備の必要な補修、福祉介護機器の導入等による環境整備や医療機関等との連携を図り、障がい特性の理解、支援スキルの向上を図る必要があります。

【共同生活事業所】

利用者の高齢化や重度化による身体や認知機能の低下から、夜間の支援を含めた健康管理が必要な利用者が増加傾向にあり、入所施設への移行の検討が必要になってきています。

また、安心・安全な生活環境を提供するために、ホームの住み替え検討や防災機器の整備が必要です。

【通所事業所】

利用者の高齢化や地域の多様な福祉ニーズに対応した施設整備や支援スキルの向上が求められています。

また、地域行事への参加やボランティアの積極的な受入れを行い、地域における事業所への理解と交流を促進する必要があります。

【相談支援事業所】

福祉サービスの利用に結びついていない潜在化しているニーズを調査し、必要なサービス提供に繋げていく必要があります。

中山の園グループとして特に取り組む事項

1 施設の改築整備に向けた取り組みの推進

令和7年度中に「中山の園整備基本計画」が県において策定される予定であることを踏まえ、施設の持つべき機能やあり方について具体的な提言を行うことができるよう、「中山の園改築準備委員会（仮称）」を設置し、具体的な検討を行います。

2 共同生活事業所の今後の展開に係る検討推進

利用が減少傾向にある共同生活事業所については、地域における利用ニーズ及び職員配置（確保）の状況等、経営面を踏まえた検討を行います。

3 セーフティネット機能の発揮とサービスの質の向上

進行する利用者的高齢化、障がいの重度化、多様化に対応し、皆が安心して豊かに暮らすことができるよう、より専門的な支援の実践に向け、各種研修会への積極的な参加やその後の適切な全体共有等により、セーフティネット機能の発揮とサービスの質の向上に努めます。

中山の園 企画調整室・総務部

経営方針

- 1 施設・事業所の運営が円滑に実施できるよう、グループ内の連携を図るとともに、地域のニーズに対応するため、支援スキルの向上や障がい特性の理解を深めるための多様な研修を実施し、セーフティネットの役割を果たします。
- 2 障がい者の地域生活を支援するため、関係機関や団体等と連携して各種相談に応じる等により、地域福祉を推進します。
- 3 財務・会計事務等に必要な知識の習得に継続して取り組むとともに、適正かつ効率的な予算執行、施設の維持管理、敷地環境の保全、感染症予防と対応、食生活・健康管理の充実を通じて、中山の園グループ全体の適切な施設運営を行います。

■ 中山の園 企画調整室

[改築整備、入所等利用調整、効率的経営]

■ 中山の園 総務部

[中山の園グループ全体の予算・決算管理調整、建物・設備の維持管理、給食の提供、利用者の健康管理等]

■ 相談支援事業所「中山の園」

[障害児相談支援、特定相談支援、一般相談支援]

令和7年度【事業の重点項目】

1 改築整備に向けた検討推進

県による「中山の園整備基本計画」の策定及び基本設計等の作成に対し、施設を管理・運営している観点から、新施設に必要な機能や設備等についての具体的な提言を行うよう検討を推進します。

2 経営の安定・強化

グループ内施設・事業所との調整及び情報共有による新規利用の受入れを進め、利用率の向上を図ります。

また、給付費・会計・契約事務等に係る学習会を実施し、職員の経営意識の醸成に努めるとともに、各種システム活用によるグループ内のデータ共有化を図り、業務の効率化を目指します。

3 安心・安全なサービスの提供

利用者の障がいの多様化に応じた支援スキルの向上を図るため、グループ全体の研修会を開催します。

また、利用者の個々の状況に応じた健康管理を図るため、看護師、栄養士、生活支援員等、多職種の連携による取組を推進します。